

2023. 1. 18

1月例会

日時 令和五年一月十八日(水)

テーマ 終わりなき戦争紛争の100年史・大戦・冷戦・テロの真相

講師 横浜市立大学 国際教養学部 講師

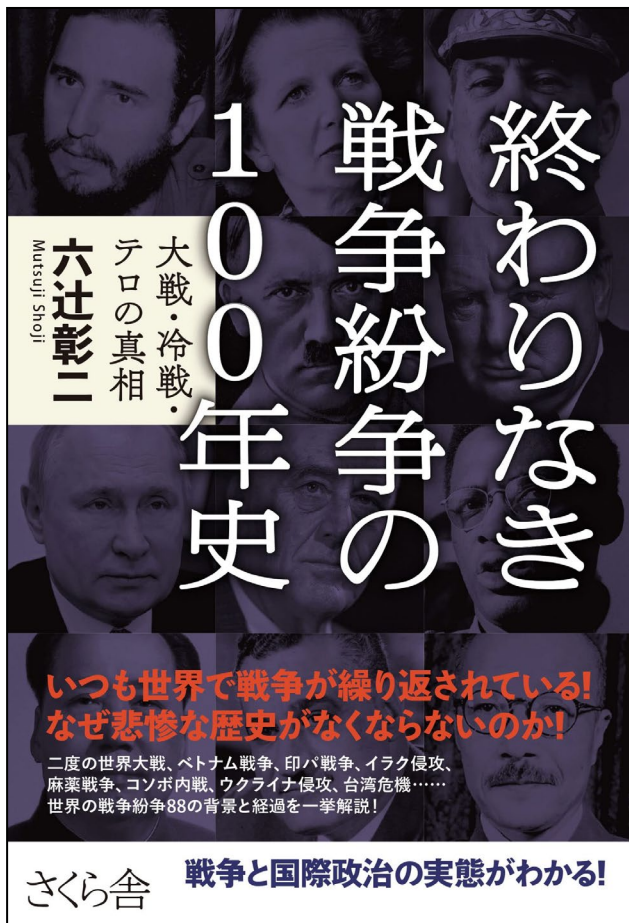
六辻彰二氏

■ 略 歴

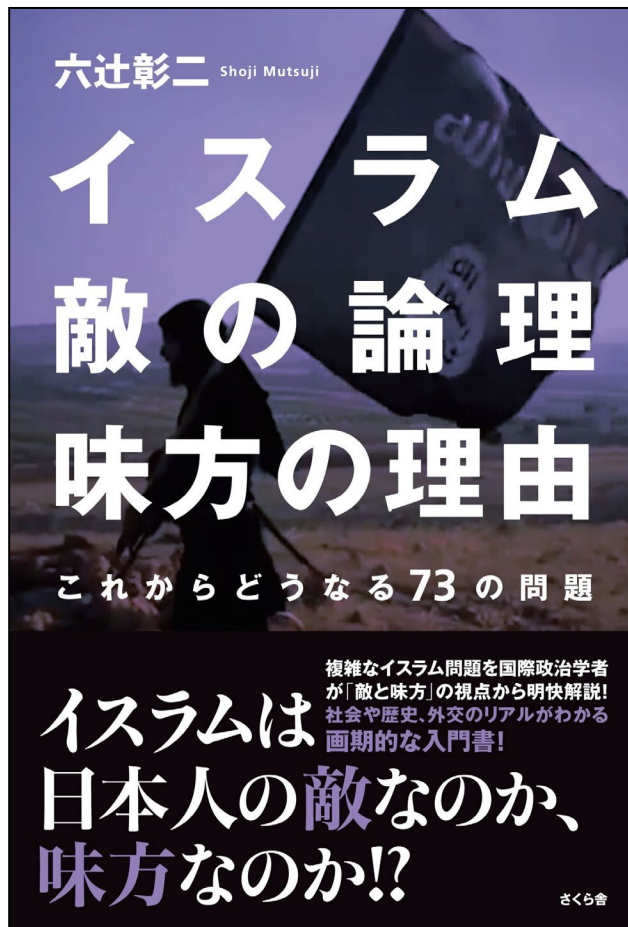
横浜市立大学文理学部卒業。博士(国際関係)。国際政治、アフリカ研究を中心に、学問領域横断的な研究を展開。横浜市立大学、明治学院大学、拓殖大学などで教鞭をとる。

著書に『イスラム 敵の論理 味方の理由』(さくら舎)、『対立からわかる! 最新世界情勢』(成美堂出版)、『世界の独裁者——現代最凶の20人』(幻冬舎新書)、『日本の「水」が危ない』(ベスト新書)他、他に論文多数。「Yahoo! ニュース個人」オーサー、「ニューズウィーク日本版」コラムニスト。

六辻彰二氏



終わりなき戦争紛争の100年史 - 大戦・冷戦・テロの真相, さくら舎; 初版 (2022/10/6)



イスラム 敵の論理 味方の理由 - これからどうなる73の問題, さくら舎 (2015/12/2)

2月例会

2023. 2. 24

時 令和五年二月二十四日(金)

テーマ データ分析で読み解く日本のコーポレート・ガバナンス史

師 南山大学 経済学部 教授

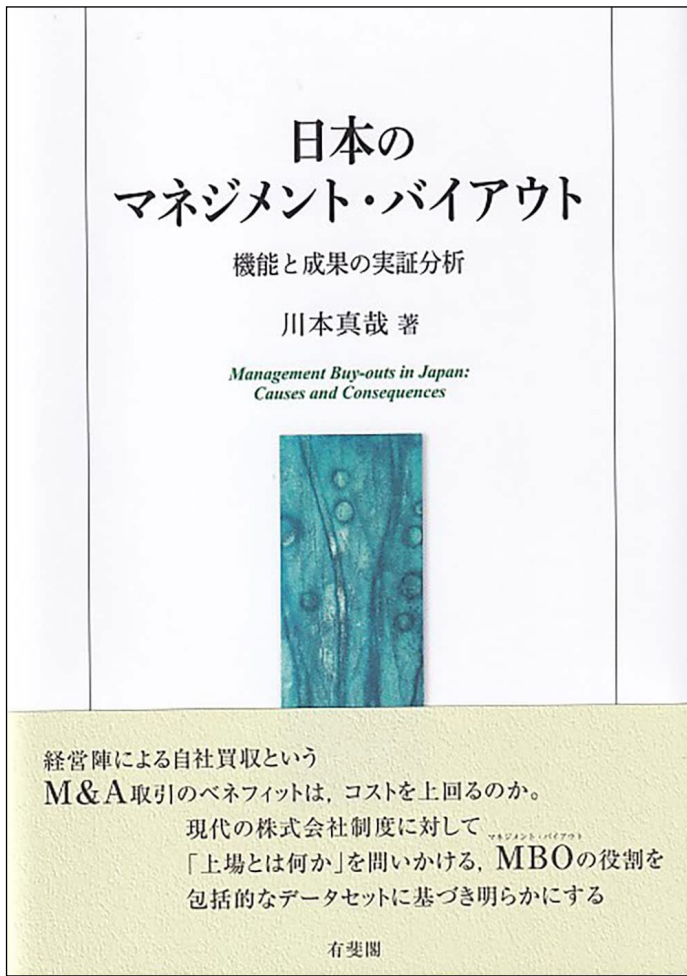
川本真哉氏

講

■ 略 歴

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。早稲田大学高等研究所助教, 新潟産業大学経済学部専任講師, 福井県立大学経済学部准教授, 南山大学経済学部准教授を経て, 現職。京都大学博士(経済学)。専攻はコーポレート・ガバナンス論, 数量経済史。

真哉氏



データ分析で読み解く日本のコーポレート・ガバナンス史, 中央経済グループパブリッシング (2022/9/26)

日本のマネジメント・バイアウト: 機能と成果の実証分析, 有斐閣 (2022/1/17)

2023. 3. 10

3月例会

日時 令和五年三月十日(金)

テーマ ビヨンド5Gの展望・未来より今の話をしてよう

講師 早稲田大学商学学術院 大学院経営管理研究科 教授

長内 厚氏

■ 略 歴

1997年、京都大学経済学部経済学科卒業後、ソニー株式会社入社。2004年京都大学大学院経済学研究科ビジネス科学専攻博士後期課程編入学。2007年に博士(経済学)取得後、同年、神戸大学経済経営研究所准教授着任。2011年、早稲田大学商学学術院准教授。2016年より現職。早稲田大学IT戦略研究所研究員、早稲田大学台湾研究所研究員兼任。2016～2017年にハーバード大学the Graduate School of Arts and Sciences客員研究員、2017～2018年に台湾東海大学国際学院訪問教授、京都大学経営管理大学院私学研修員、2016年～現在、九州大学大学院経済学府客員教授、ビジネスブレークスルー大学大学院客員教授などを歴任。

長内 厚氏



おさない・あつし
70年ほど、京都大学、ソニー、早稲田大学、神戸大学、早稲田大学台湾研究所、早稲田大学IT戦略研究所、早稲田大学商学学術院、早稲田大学経営管理大学院、早稲田大学経済学府客員教授、早稲田大学大学院客員教授などを歴任。

次世代産業は、5Gの普及によって、デジタル化が進み、生産性が向上し、コストが下がる。これは、企業にとって大きなメリットである。しかし、一方で、デジタル化による競争の激化や、人材不足などの課題も生じている。本セッションでは、5Gの展望と、未来より今の話をしてよう。

長内厚 早稲田大学教授

ビヨンド5Gの展望 ① 未来より今の話をしてよう

規模の経済性と範囲の経済性

生産量の増加によるコスト削減効果

生産量が増える → コストが下がる

範囲の経済性

世界で通用するコアコンピタンス（標準化された技術）への投資が、複数の事業に波及する（スケールメリット）

共通のコアコンピタンスへの投資 → 複数の事業に波及する

ポイント

・ 6Gが社会のあらゆる部分の基盤となる

・ デジタル時代は規模と範囲の拡大が重要

・ 技術標準よりビジネス標準を取りに行く

e新書

No.09

一橋 Hitotsubashi Business Review

ビジネスレビュー

日本発の本格的経営誌

技術と戦略

ハウス食品

BUSINESS CASE

カレー業界トップを維持する

ハウス食品

「未来より今の話をしてよう ビヨンド5Gの展望」日本経済新聞 経済教室(2022年12月6日)

ビジネスケース『ハウス食品～カレー業界トップを維持する技術と戦略』, 東洋経済新報社 (2014/4/21)



井上智洋氏

■ 略 歴

2011年に早稲田大学経済学研究所で博士(経済学)を取得。
早稲田大学政治経済学部助教、駒澤大学経済学部講師を経て、2015年4月から現職。専門はマクロ経済学。特に、経済成長理論、貨幣経済理論について研究。著書に『純粹機械化経済 頭脳資本主義と日本の没落』『ヘリコプターマネー』(ともに日本経済新聞社)、『「現金給付」の経済学』(NHK出版新書)、『人工知能と経済の未来』(文春新書)、『AI時代の新ベーシックインカム論』(光文社新書)、『MMT 現代貨幣理論とは何か』(講談社メチエ)など。

2023. 4. 18

4月例会

日時 令和五年四月十八日(火)

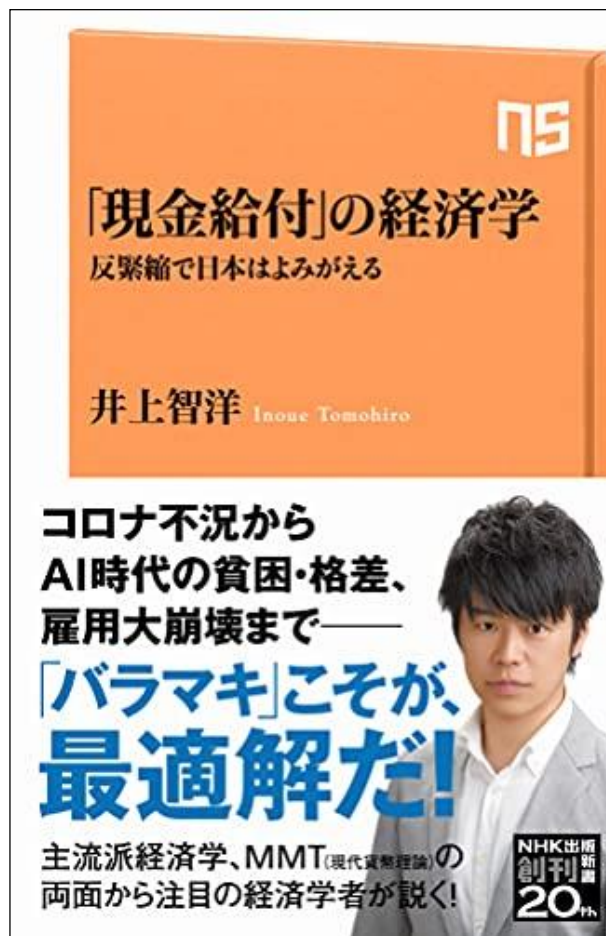
テーマ メタバースと経済の未来

講師 駒澤大学経済学部准教授

井上智洋氏



メタバースと経済の未来, 文藝春秋 (2022/12/16)



「現金給付」の経済学 反緊縮で日本はよみがえる, NHK出版 (2021/5/11)



鎮目雅人氏

■ 略 歴

1985年、慶應義塾大学経済学部卒業、日本銀行入行。2006~2008年、神戸大学経済経営研究所教授、日本銀行金融研究所勤務などを経て2014年より現職。博士(経済学:神戸大学)。専門は、日本経済史、金融史、貨幣史等。著書に『世界恐慌と経済政策』(日本経済新聞出版社、2009)、『信用貨幣の生成と展開』(慶應義塾大学出版会、2020)など。

日本経済新聞 2023年(令和5年)2月7日(火曜日)

財政政策と国債増発の行方 ⑧ 鎮目雅人 早稲田大学教授

経済力こそ国防の基盤

1. 国防費のGDP比率

44年度: 79.0

1885-1936年度 平均: 5.1%

52-次21年度 平均: 1.3

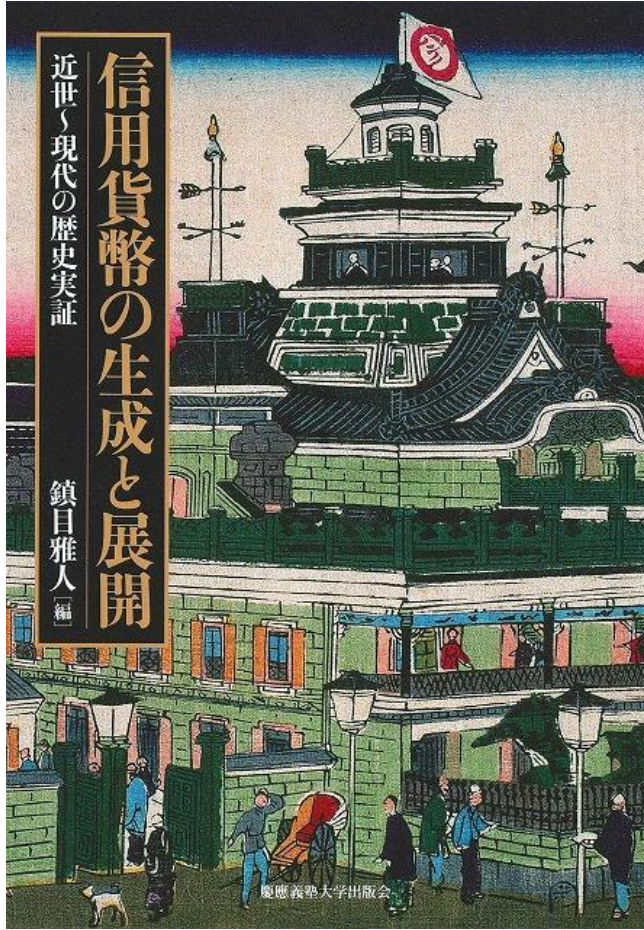
2. 主要国の国防費

	1990年	2021年	90年から21年の年平均
	金額 GDP比	金額 GDP比	金額 GDP比
1 米 国	3251 5.6%	8007 3.5%	2.5% ▲2.1 ポイント
2 中 国	99 2.5	2934 1.7	29.6 ▲0.8
3 イ ン ド	105 3.1	766 2.7	7.3 ▲0.4
4 英 国	435 4.0	684 2.2	1.6 ▲1.8
5 ロシア	2191 -	659 4.1	0.3 -
9 日 本	288 0.9	541 1.1	1.9 ▲0.2
10 韓 国	101 4.0	502 2.8	5.0 ▲1.2

ポイント

- 国防費の増加分だけ国内の生産資源消費
- 石橋湛山の主張は戦後の高度成長で実現
- 経済成長しない日本は防衛費の負担重く

鎮目雅人 編



2023. 6. 14

6月例会

日時 令和五年六月十四日(水)

テーマ 超デジタル世界・この国のデジタル化は成功するのか？

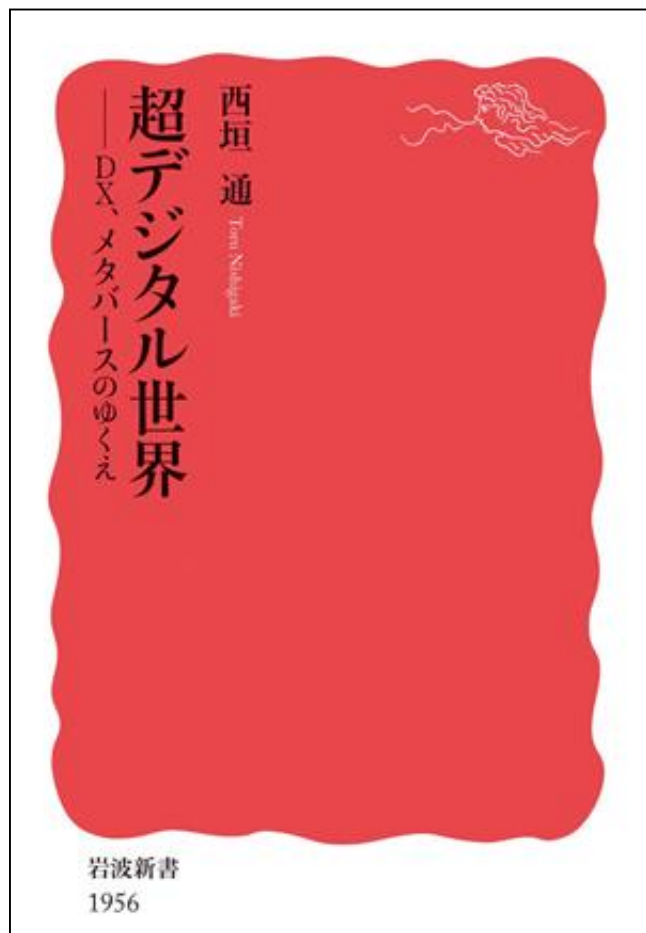
講師 東京大学 大学院情報学環・学際情報学府 名誉教授

西垣通氏

■ 略 歴

東京大学工学部計数工学科卒。工学博士(東京大学)。日立製作所でコンピュータ研究開発に従事したのち、明治大学教授、東京大学社会科学研究所教授、東京大学大学院情報学環教授、東京経済大学コミュニケーション学部教授を歴任。専攻は情報学、メディア論。著書として、『AI原論』(講談社選書メチエ)、『ビッグデータと人工知能』(中公新書)、『ネット社会の「正義」とは何か』(角川選書)、『ウェブ社会をどう生きるか』(岩波新書)、『基礎情報学(正・続)』(NTT出版)ほか多数。

西垣通氏



超デジタル世界 DX, メタバースのゆくえ, 岩波書店 (2023/1/20)



新基礎情報学, NTT出版 (2021/6/21)